

子宮頸癌に対して当院で小線源治療を受けられた患者さんへ臨床研究のお知らせです。

## 掲示文書

課題名：子宮頸癌に対する画像誘導小線源治療（IGBT）における臓器線量と有害事象発現に関する後方視的研究

### 本研究の対象：

子宮頸癌に対して当院で小線源治療を受けられた方

対象期間：2011年1月1日～2016年12月31日

### 本研究の内容：

治療計画装置に記録された各臓器への照射線量と、カルテ記載から確認した有害事象の発現頻度を後方視的に観察し、その関連について検討を行います。

### 本研究の意義：

子宮頸癌に対する小線源治療においてCTやMRIを用いた治療法の有用性が示されていますが、その際の周囲臓器の線量と有害事象との関連についてはまだ十分に解明されておらず、本研究で得られる結果からIGBTを行う際の適切な臓器線量制約の確立につながることを期待できます。

### 個人情報の管理：

この研究では、患者さんのお名前に対応する番号をつけた一覧表を作り、データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。データの調査のときに個人情報が漏れないように、この一覧表は、データとは別に取り扱います。

また、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、あなたの個人情報などが公表されることは一切ありません。

### 本研究への参加：

もし、この研究への参加をお断りになっても、あなたの今後の治療に差し支えることは一切ありません。不参加を希望される場合には、お手数ですが下記の研究責任者、研究分担者、もしくは担当医にお知らせください。研究への不参加を希望される場合は2017年2月28日までに下記 研究の窓口までお知らせください。

### 連絡先

この研究の内容について、わからない言葉や、疑問、質問、自分がこの対象の対象になるかなど、更に詳細な情報をお知りになりたいときには、遠慮せずにいつでもお尋ねください。

窓口：金沢大学附属病院放射線治療科 担当者：熊野智康

電話番号 076-265-2323（経血管診療学講座医局）